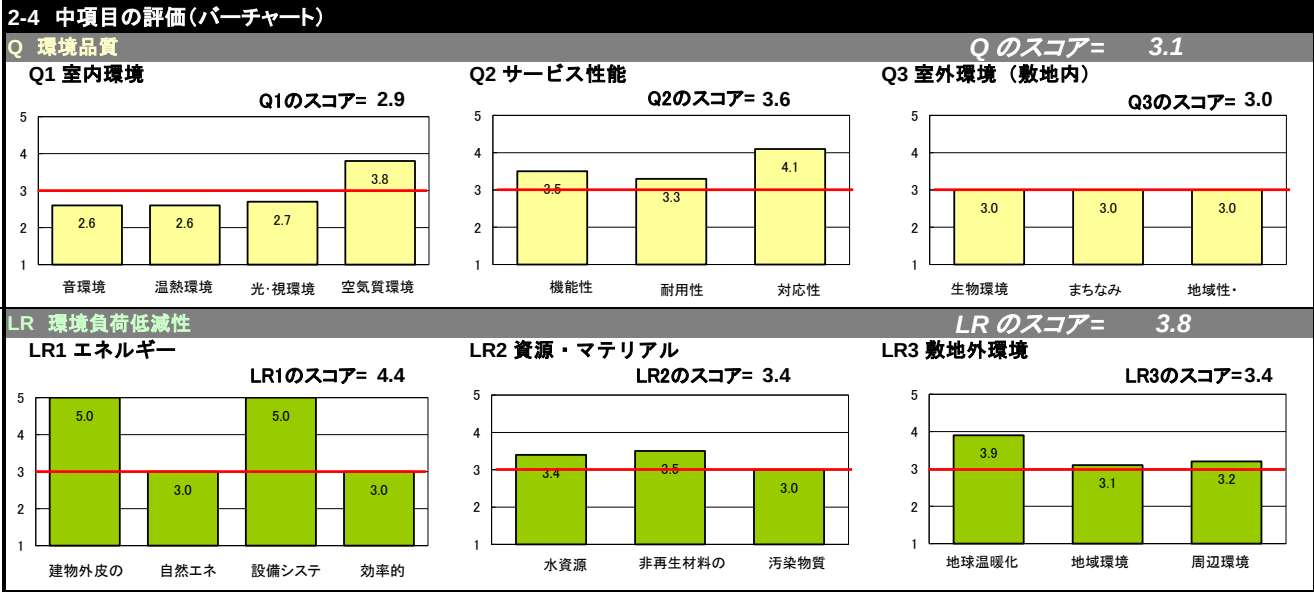
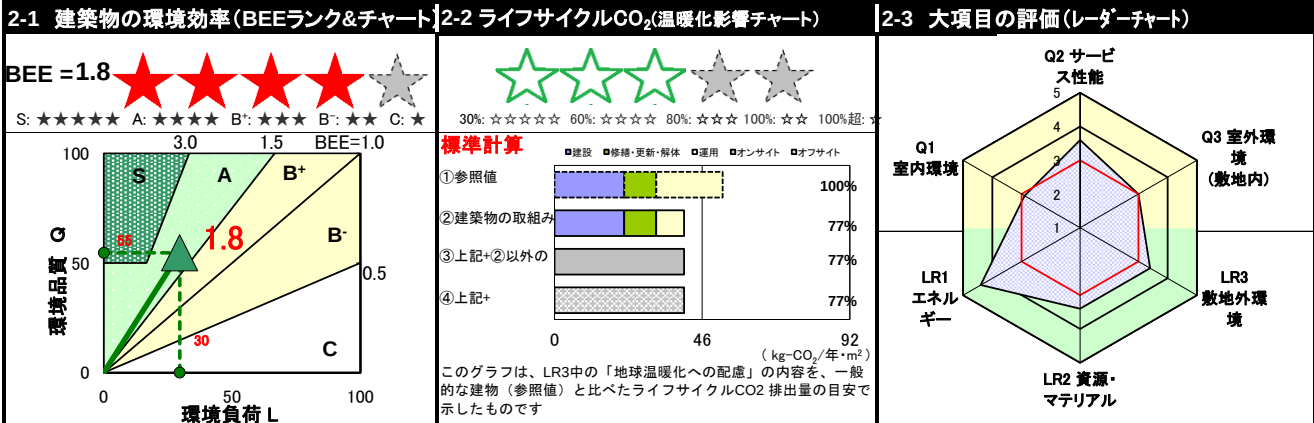


CASBEE[®]-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版 (使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v1.1))

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	ESR川西DC1 新築計画	階数	地上6F
建設地	兵庫県川西市東畦野字長尾1-444	構造	RC造
用途地域	工業地域、法22条区域	平均居住人員	300 人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,400 時間/年(想定値)
建物用途	事務所・工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年5月 予定	評価の実施日	2025年4月15日
敷地面積	62,864 m ²	作成者	島田 信治
建築面積	20,620 m ²	確認日	2025年4月15日
延床面積	119,571 m ²	確認者	島田 信治



3 設計上の配慮事項		
総合		その他
・断熱性の高い材料の採用と高効率な設備機器の導入、節水型器具の採用等により、環境負荷の低減に配慮した建物である。		-
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
・ほぼ全面的にF★★★★の建材を使用して室内の良好な空気環境の確保を図っている。	・将来の用途変更の可能性等を考慮し、建物の階高、空間の形状・自由さのゆとりを計画している。	-
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
・高効率な設備機器を採用し、エネルギーの効率的利用に配慮している。	・主要水栓は節水器具とし、節水便器を使用する等水資源の保護に配慮している。	・光害対策ガイドラインチェックリスト・広告物照明の取り扱いの配慮事項の項目の過半を満足している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される